

第2313回例会

4月11日(木)晴 / 12:30 ~ 13:30 [松魚亭]

1. 講話
「金沢からのスタート、将来に向けて」
チャン・タイン・ハイ氏 (元米山奨学生)
 2. 出欠
出席 35名 欠席 15名
 3. 退院お祝い 向峠君、森君
 4. IM実行委員会報告
5/10 IM追加企画PR
 5. ニコニコボックス
山上君、岩網君 チャン・タイン・ハイ氏をお迎えして、お話しにしております。
吉井君 HAIさんをお迎えして
中村(實)君 チャン・タイン・ハイ君お久しぶりです。今日のお話、楽しみにしています。
- 合計 8,000円 (累計 412,800円)



第2314回例会

4月18日(木)晴 / 12:30 ~ 13:30 [松魚亭]

1. 講話
「外国人就労者の地方への定着化～世界から選ばれる地域となるには～」
山田 和夫氏 ((株)YOU-I JAPAN 代表取締役)
 2. 出欠
出席 27名 欠席 13名
 3. 退院お祝い 水巻君
 4. 幹事報告 4/21 地区研修協議会の件
 5. ニコニコボックス
山上君、岩網君 山田和夫様をお迎えしてお話しにしております。
吉井君 山田和夫様をお迎えして。
松本君 結婚記念日の美しいお花ありがとう。54回目です。やーね。
- 合計 7,000円 (累計 419,800円)



第2315回例会

4月25日(木)晴 / 12:30 ~ 13:30 [松魚亭]

1. 講話
「ロータリアンから学ぶ人生いろいろ」 畠 善昭君 (ガバナー補佐、会員)
 2. 出欠
出席 会員 30名 欠席 10名
 3. 幹事報告 小嶋副会長から加賀蓮根差し入れの件
 4. ニコニコボックス
山上君、岩網君 畠ガバナー補佐、本日はよろしくお話しします。あと少しです。お互い。
小嶋副会長、れんこん、ありがとうございます。
畠君 “川勝知事から学んだ” 職業に貴賤なし でも人格には貴賤あるかも
品格ある話しをしてみたい 今日よろしく
内堀君 今日の卓話、畠ガバナー補佐のお話、楽しみです。
水巻君 退院祝いをいただきました。ありがとうございました。
- 合計 10,000円 (累計 429,800円)



■ 金沢市内 RC メーカーアップ情報

- (月) 金沢東 RC (スカイホテル) 前週水曜日午前中までに要予約
金沢香林坊 RC (東急ホテル) 前週水曜日までに要予約
5/27 休会
- (火) 金沢南 RC (日航ホテル) 5/7 休会
金沢みなと RC (ANA クラウンプラザホテル) 5/7 休会
- (水) 金沢 RC (ニューグランドホテル) 前週水曜日までに要予約、
5/1, 8 休会 5/22 夜間例会及びチャリティ・オークション会
- (木) 金沢北 RC (松魚亭) 5/2, 9 休会 5/23 友好クラブ訪問
月曜日までに要予約
金沢百万石 RC (日航ホテル) 5/2, 30 休会 月曜日までに要予約
- (金) 金沢西 RC (東急ホテル) 水曜日までに要予約、5/10 休会、
5/31 職場見学会

■ 5,6月の予定

- 5月16日(木) 講話 Gandhi Raveen 氏、Gandhi Richa 氏
例会後定例理事会
- 5月23日(木) 京都友好訪問 京都洛北 RC 創立 50 周年記念例会
～ 24日(金) 合同ゴルフコンペ、京都観光
- 5月30日(木) 講話 李 彩霞氏 (二胡奏者)
- 6月6日(木) 講話 竹澤 清孝氏 (元石川県警 捜査第二課長)
- 6月13日(木) 講話 木村 幸生氏
- 6月20日(木) 最終夜間例会
- 6月27日(木) 休会

●会長/山上 公介 ●会長エレクト/本田 正敏 ●副会長/小嶋 修一
●幹事/岩網 大介 ●副幹事/今村 則昭 ●会場監督/永井 紀久 ●会計/木村 康徳
●クラブ会報委員長/山崎 洋一

●会員数/40名 ●クラブ設立/昭和 48年 10月 3日
○例会日/木曜日 12:30 ~ 13:30
○例会場/松魚亭 金沢市観音町3-4-45 TEL:076-252-2271 FAX:076-252-2273

金澤北ロータリークラブ



発行 2024.5.16thu

NO. 1006

事務局/金沢市大手町15番15号 金沢第2ビル4階
TEL:076-254-6368 FAX:076-254-6395
E-mail:office@kanazawa-north.jp
HPアドレス :http://www.kanazawa-north.jp



「主計町茶屋街」

印度紀行 2023 ③

会 員 吉 井 清

DARUMA YAHTORA 聖地巡礼I

(祇園精舎から生誕の地ルンビニ、入滅の地クシナガラ)

祇園精舎の鐘の聲 諸行無常の響きあり
沙羅双樹の花の色 生者必滅の理をあらわす、

祇園精舎*1)は琵琶法師がこの世の無常を説いて語り聴かせ、日本人の心の奥にある見知らぬ国への憧憬の念をも呼び起こしてくれる平家物語の書き出しの文言として知られています。

今回、印度へ入って4日目、デリー空港からUP州の州都ラクナウへ飛んだ。此处からDARUMA YAHTORA 聖地巡礼の旅をはじめ。ラクナウは18世紀から19世紀にかけて藩王国として栄えたアワド王国の首都だったところで、今もUP州の州都でありメトロが走っている大都会だ。ここでアワド王国が遺した壮大なモスク、バラ・イマンバラ*2)を訪ね、市内のホテルで昼食を摂って祇園精舎へ向かう。愈々、念願のDARUMA YATORA 聖地巡礼の始まりだ。祇園精舎は此处から陸路170キロの処にある。仏陀伽耶に住む友人がドライバー付きで車を用意してくれて2日ばかりでやって来てくれた。これからの道のりを同行してくれる。

夕刻、未だ陽の残っているうちに祇園精舎の町シュラバスティに着いた。印度哲学の権威者中村元東京大学名誉教授は古代パーリイ語文の経典から邦訳した著書「ブッダ最後の旅・大パリニツパーナ経」著書の解題で釈尊の教団本拠地であった鷲の峯からクシナガラに至るブッダ最後の旅*3)の行程を記してくれている。これらの故地をなぞって歩いてみるのが私の永年の夢だった。

(サヘート・マヘート)

祇園精舎跡はサヘートと呼ばれ、マヘートと呼ばれる古代インド、コーサラ国の王都だった舎衛城跡と隣接している。このため二つの遺跡群はサヘート・マヘートと一纏めで呼ばれており釈尊と仏教に関連する8大仏跡*4)の一つに数えられている。シュラバスティ舎衛城(surabasuti)と呼ばれるこの町には豪商スタッタ長者が祇陀太子のマンゴー園を譲り受けたエピソードや釈迦弟子アングリマラ(アヒンサカ)*5)の逸話が伝えられており広大な遺跡群はよく整備、保存されており世界文化遺産となっている。

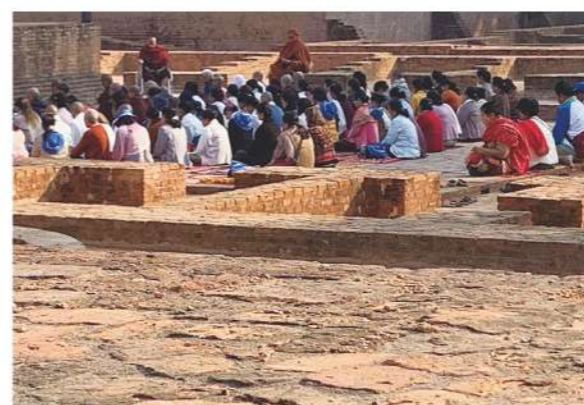


祇園精舎、アングリマラの塔跡

(二つのカピラ城 ピウラワ/ティラウラコット)

釈迦族の王城跡に比定される遺跡群がインド地内(ピプラワ)、ネパール地内(ティラウラコット)の二カ所にあり、それぞれに発掘調査が行われて多くの遺物や建造物、塀などの工作物の遺跡群が出土している。それぞれに城郭を示す有力な遺物がある為、現時点ではどちらかに決める事が出来ていなく、将来の研究に待つ他ない。この日、ピプラワの遺跡を参拝して夕刻近く印度ネパール国境を越えてネパールへ入った。

ネパールでの宿泊はリゾートホテルでの2泊となったがこのホテルは地元ロー



二つのカピラヴァストゥ / 印度側カピラバトウ

タリークラブの例会場(ROTARY CLUB OF RUPANDEHI)となっており例会日は毎週土曜日、午前7:30と早朝になっているのには驚いた。

(ルンビニ)

釈尊の母マヤ夫人は臨月を迎えてお産の為に実家へ向かったが、実家への途上で陣痛が訪れルンビニの森に差し掛かった処で釈尊ゴータマ・シッダールタを出産した。この地は



ルンビニ

アジアの仏教徒の支援を受けて「ルンビニ釈尊生誕地聖域計画」が立案され1978年日本の建築家丹下健三がマスタープランを作成し、これに基づき整備が進められ多くの仏教徒が訪れている。

(クシナガラ)

ネパールでの2泊の後、再び印度ネパール国境を越えてインドへ戻った。クシナガラは釈尊の生誕の地ネパール国境近くにある。大涅槃経(マハーバリニツパーナ・スタント)にあるように釈尊最後の旅でふるさとカピラ城や生誕の地を目指す旅だったのかもしれない。釈尊は侍者アーナンダに看取られ沙羅双樹の間に横たわりこの地で入滅された。



クシナガラ

*1) 祇園精舎の名前の由来は王舎城の長者、給孤独長者(sudatta)が釈尊の説法を聞き心酔して祇陀太子の果樹園を譲り受けて釈尊の為に精舎を作り寄進したと伝えられる逸話に由来する。祇園精舎はスタッタ長者が祇陀太子の果樹園を譲り受け(買い取ろうとした)(恵まれない孤児たちの為に食事を施していた給孤独長者)が釈尊に寄進した精舎から発している。

*2) バライマンバラ ラクナウで尋ねた回教寺院(モスク)

*3) ブッダ最後の旅(中村元著「ブッダ最後の旅」解題から(赤字表示は今回の巡拝地)鷲の峯、王舎城～アンバラッティカー園～ナーランダ～パターリ村(以上マガダ国)～ガンジス河を渡る(ゴータマの渡し)～コーティ村～ナーデイカ村～ベールバ村(雨期安居)～ヴェーサリー市～パンダ村～ハッティ村～アンバ村～ジャンプ村～ボーガ市～(以上ヴァジ国)～パーヴァー市～カクッター河～クシナラー(以上マッラ国)

*4) 8大仏跡(8大聖地)ルンビニ、ブッダガヤ、サルナート、ラジギール、サヘート・マヘート、ヴァイシャリ、クシナガラ、サンカーシャ

*5) アングラマリ(アヒンサカ)盲信から殺人鬼となったバラモン(アヒンサカ)の修行者アヒンサカは百人の人を殺害してその手指の骨で首輪(アングラマリ)を作る行を行っていたが99人を殺害の後説法の為舎衛城へ来ていた釈尊に出逢い、その行いを諷められ、釈尊の説法に感じて仏弟子となったと伝えられる。